



北緯40度東端の地球村

広報

ふだい

2014

4

No.623

三陸鉄道、全線開通

東日本大震災の大津波で被災し、一部区間で運休していた三陸鉄道北リアス線が4月6日、久慈～宮古間で全線運行を再開しました。当日は堀内駅、沢漁港、普代駅で歓迎イベントが行われ、村内には、歓迎ムードが漂っていました。(写真は堀内駅、関連記事 24頁)



今月の内容

証屋村長の施政方針演述、26年度予算 2～11
村内人の動き、特産品ブランドづくり事業成果発表会、広報縮刷版を発刊ほか村の話題 12～15

みんなのひろば、村内卒入学式ほか 16～19
くらしの情報、カレンダーほか 20～23
ウォッチング北緯40度 24

復興計画の目標達成を目指し

復興諸事業を一層加速!



所信を述べる梶屋村長

復興に総力を挙げた「復興加速年」

平成26年第2回村議会定例会が3月4日から7日までの4日間開かれ、26年度の予算など25議案が原案の通り可決されました。初日の施政方針演述で梶屋伸夫村長は「復興諸事業が一層加速化され1日も早く完全復興を迎えられるよう、努力します」と所信を表明し復興3年目の具体的な考え方を明らかにしました。

震災前にも増した村の再生や発展を目指した施政方針演述の、主な内容や予算などについてお知らせします。(2ページ11ページ)

はじめに、東日本大震災から間もなく3年が経過しようとしています。改めて、犠牲になられた方々から哀悼の意を表し、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

そして、生活の再生、生業の再建に並々ならぬご苦労をもってお取り組みいただいておりますことに、心からの敬意と感謝の意を表します。また、県内外の企業を始め、本村の復興に多大なるご支援と励ましをいただいております全国の皆様などに、普代村民を代表して、厚くお礼を申し上げます。

漁船は526隻が再建済み

本村は、昨年を復興加速年と位置付け、普代村災害復興計画に掲げる3つの基本目標に基づき、その復旧・復興事業の推進に総力を挙げてきたところであります。

「産業・経済の再建」につきまして、村内全漁港の災害復旧を完了させ、機能強化も順次、完成に向かっております。漁船は、予定の527隻に対し526隻が再建され、養殖・

三陸沿岸道路普代道路への避難階段、さらには、緊急物資の備蓄倉庫なども整備しているところであります。

今後も、見直された地域防災計画に基づく訓練などの徹底を図りながら総合的な避難対策の充実を期すとともに、制作している災害記録集などの活用による震災の風化防止にも努めてまいります。

一方で、村内経済の再生を牽引する観光施設の復旧は、まついそ公園が今季から利用可能となりますが、普代浜園地、自然遊歩道などの復旧

が遅れており、今後、特段の加速化に努めます。

風評被害の完全払拭を!

復興加速年の取り組みにより、震災から3年余で本村水産業の生産・加工・流通の一体的な復旧・復興にしっかりとした目途が見えてきております。また、村民の皆様の生活も一段と落ち着いてきており、各般の村づくり活動への活発な参加もいた

村復興計画に基づく、東日本大震災からの復興への施策

施策 1

震災からの復興では、共同利用倉庫や堀内・沢地区の海岸避難階段などの整備を進めるほか、普代浜園地の復旧を推進させ、観光客が利用できるよう取り組んでいきます。

水産業施設の完了を目指す

水産業関係は、普代南浜共同利用倉庫(1980万円)を整備するとともに、繰越となる根多利浜での同倉庫、漁船1隻の再建などを行い、水産業の基盤復興の完了を目指します。

重点課題の普代浜園地の復旧は、複合休憩施設(シャワー室、トイレ等)と東屋の整備を環境省と連携した取り組みにより行うとともに、普代港線の復旧(繰越分、1200万円)も完了させ、1日も早く観光客の方々に利用いただけるよう取り進めてまいります。

日新聞社などの支援による「緑のバトン」事業での植樹を予定し、今後の「震災復興公園(仮称)」の整備などに繋げるよう取り組んでまいります。なお、堀内・沢地区の海岸避難階段と誘導機器整備(繰越分、9030万円)や堀内港線復旧(繰越分、500万円)なども早期完成を期してまいります。

定置網施設の復旧も昨年末で事業完了となりました。

また、主要共同利用施設は、魚市場、製氷・貯氷施設、船舶給油施設、種苗センター、さけ・ますふ化場などが供用され、水産加工処理施設(冷凍冷蔵加工場)と漁船保全修理施設(ドック上架施設)が間もなく完成となります。漁家の作業場なども、加工場30棟、機械70機が整備され、水産個社の加工処理施設も順次、完成しているところであります。

「住民生活の再生」につきましては、三陸鉄道北リアス線が本年4月に全線再開の予定となり、岩泉平井賀普代線の復旧工事(普代浜付近)も着工となるなど、村道を含め、被災した生活基盤が着実に復旧しております。また、漁網やロープ葎などの災害瓦礫(総量1万4200ト)の村外処理も完了となります。

「災害に強い村づくり」につきましては、普代水門と太田名部防潮堤は補強工事が完了し、そのほか施設の長寿命化にも着手しております。災害時の情報伝達の充実を期す防災行政無線のデジタル化も完了し、避難所の充実、自主防災組織の設置なども着実に推進しております。また、避難道路は村道上の沢線が全線完成となります。学校施設は、普代小学校校庭の嵩上げ、普代中学校への避難路並びに

だけの生活が戻ってもおります。これは、偏に、被災者の方々を始め、全ての村民の皆様、国、県、村議会、関係団体の皆様の全力を傾注しての取り組みの賜であります。

重ねて、そのご尽力とご支援に敬意を表し感謝を申し上げます。今後は、復興諸事業が一層、加速化され続けるとともに、風評被害の速やかにして万全な払拭も図られ、1日も早く完全復興を迎えられるよう、さらなるご指導とご協力をお願い申し上げます。



しいたけの植菌やコナラ造林などへの助成をし、生産維持に努めます



沖防波堤の工事を継続する太田名部漁港、加工用水の整備も行います



人材育成を含め、各保存・伝承活動を推進します（鶴鳥神楽の巡行）



幼・小・中一体となった教育の充実に取り組みます（はまゆり子ども園運動会）

施策 2

教育・スポーツ・文化の振興と交流の拡大 活力ある産業を育てる施策

幼・小・中の一貫教育をさらに充実させ、生涯スポーツや芸術文化などの振興も図ります。また、各種産業の活性化を図り、所得の向上も目指します。

学校給食センターを建設

普代村の未来を担う子どもたちが、たくましく社会に羽ばたいていくよう、幼・小・中一体となった教育の充実を努めるとともに、村民の皆さんが生涯にわたり、生き生きと学び続けることができる機会の充実、郷土文化芸能の保存や交流の活性化などに一層の取り組みを行います。

「はまゆり子ども園」は、昨年の公開研究会の成果をいかしながら、家庭教育を含めた、より一層の幼児教育と保育の質の向上に保護者と協働して取り組むとともに、総合的な子育てニーズに応える運営を期してまいります。また、園庭の拡張整備（382万円）を行い、生き生きと学び・遊ぶ環境づくりも推進してまいります。学校教育は、小・中一貫教育の一層の充実を支えながら、その一貫校施設の整備について、関係諸検討委

員会の報告、研究などを踏まえた基本調査事業（185万6千円）を行い、さらなる具体検討を深めてまいります。また、学校特別支援員（553万円）の配置、学習塾開設（65万円）、放課後子ども教室開催（342万7千円）、学校と地域の協働推進事業（165万9千円）などを継続して支え、教育環境の充実、学力の定着・向上が図られていくよう取り組みます。

なお、学校給食センターは、築後45年経過となり老朽化が激しく、衛生管理上の支障もあることから移転新築（2億8068万2千円）を行うよう取り進めます。社会教育は、その成果が地域づくりへの参画にも繋がることから、新たに村民大学の開講なども行い、多様な機会の提供に引き続き努めます。また、生涯スポーツの一層の推進を図るよう、スポーツ教室などの開催事業（村376万円、はまゆりスポーツクラブ817万3千円）を支援するとともに、運動公園多目的

基幹産業の活性化を推進

グラントの簡易な芝植栽（トラック内、216万円）を行い軽スポーツなどでの利用拡大を図ってまいります。文化・芸術の振興は、地域の個性や魅力の発信、郷土愛の醸成、そして、村民の絆とつながりを強めていくためにも重要であることを踏まえ、県無形民俗文化財指定の「鶴鳥神楽」、村天然記念物指定の「チョウセンアカシジミ」、「ふだい荒磯太鼓」などの保存・伝承活動の人材育成を含めた充実を努めるとともに、諸文化団体の活動支援（100万円）を継続してまいります。なお、「中野流鶴鳥七頭舞」の米国公演が予定されますので、普代中学校生徒の皆さんが震災に負けず頑張る姿を堂々と披露できるよう支援してまいります。

本村の農林水産業、商工・観光業の活性化に取り組み、その魅力や競争力

を高めながら、6次産業化も推進し、地場産品の高付加価値化と経営の強化などを図るとともに、生産基盤の整備はもとより、着実な担い手対策の推進に努めながら、地場産業の飛躍と村民所得の向上を期してまいります。水産業は、アワビの放流について、その稚苗の確保が困難なことから、村事業分は引き続き休止（漁協事業分は可能量を実施）といたします。太田名部漁港の沖防波堤工事（事業費3億5000万円）と黒崎漁港の機能強化工事（1億円）は国の経済対策補正予算事業で続行し、堀内漁港は機能回復工事に向けた調査事業（事業費1000万円）、白井漁港も次年度工事の調査事業（1000万円）を実施します。

また、太田名部地区の水産加工用水整備（2000万円）を継続し、昆布の加工の安定化に資する事業も実施し、基幹産業の活性化に取り組みます。

しいたけ生産の支援強化

農業は、園芸施設の整備支援事業（事業費259万8千円）を実施するとともに、土壌消毒、遮熱対策、種子助成（寒じめほうれん草、枝豆など（ $\frac{1}{3}$ 、34万5千円）、価格安定化対策（56万円））などを継続して行います。

観光・商業の活性化を

また、営農支援員の巡回も続け、農業生産の維持と農家経営の安定化に取り組みます。なお、普代ダムでの小水力発電は、平成27年11月の引渡しを予定し着工となりますので、県と連携しその推進に取り組みます。また、林業は、原木しいたけの植菌助成（ $\frac{3}{4}$ 、243万円）やコナラ造林へも助成（90万円）を行い、危機的状況のしいたけ生産の維持などに努めてまいります。

多面的機能を有する天然林の拡大や、混合林化の推進が一層に希求されることから、平成25年度策定の特定間伐など促進計画のさらなる事業拡大に努めた取り組みを行います。商業は、地元消費の拡大のためのプレミアム付商品券補助（100万円）を行うとともに、特産品販路開拓推進事業（909万9千円）を実施するなど活性化に努めます。

また、商工業振興補助（352万円）の拡充により経営指導などを支え、経営安定化対策としての振興資金預託事業（1000万円）の継続による、設備投資や運転資金の円滑な確保を支援してまいります。

新卒者などの村内就業を支援

観光振興は、「ふだいまつり」などの観光イベントへの積極的な支援を継続して行い、村内誘客の拡大に努めるとともに、村の玄関たる駅前広場をいかしつつアンテナショップなどの充実を図り賑わいの再生に努めます。また、北山崎遊歩道の復旧とみちのく潮風トレイルの開通にも取り組みながら、普代水門など三陸ジオサイトの情報発信（129万6千円）、体験交流型観光推進（60万5千円）、観光施設の適正管理など（490万5千円）にも努め、大きな経済効果をもたらす観光の振興に一層の取り組みを行います。

雇用対策は、福祉施設での雇用の確保が着実に図られてきている中、本年は漁協、水産加工業者などで再建された冷凍冷蔵加工場が本格稼働となりますので、その雇用のミスマッチの緩和にも努めながら村内就業の増加に繋がるよう取り組んでまいります。また、ふるさと雇用促進奨励制度（72万円）を創設し新卒者の村内求人の後押しにも努めてまいります。なお、県補助による緊急雇用事業が大幅な縮減（25年度の4563万7千円が26年度は1535万5千円）となり



役場職員駐車場に設置された太陽光発電のソーラーパネル



子ども園では、給食費の免除制度を作り子育て世代の負担軽減に努めます



心身ともに健やかな暮らしが送れるように健康づくりを進めます（合同敬老会）



「くろさき荘」は繰越しとなった食堂兼厨房棟の早期完成に努めます

ますので、村単での雇用の維持（1634万9千円）も図ってまいります。

くろさき荘健全経営を継続

国民宿舎くろさき荘は、復興需要による高い稼働率が続いており、震

災後の3年間で6300万円の営業黒字が予測されています。今後も、この特需の積極的な獲得に努め、健全経営の継続を期してまいります。また、資材高騰などによる発注事務の遅れから、繰越となっている食堂兼厨房棟の早期完成に特段の努力をしております。そして、この完成を見

据えながら、眺望確保のための木造本館の解体や事務室、ロビー施設の一部改修などの検討をしております。さらには、現在も進めている特産品開発とその販売などにも鋭意の取り組みを続けながら、「食・いやし・体験」へのニーズに応える体制づくりも推進してまいります。

施策 3

保健・医療・福祉や環境保全対策、生活環境充実のための施策

保健・医療・福祉が連携を強め、健康づくりや介護予防を充実し、再生可能エネルギーや生活環境も整備して、より一層の居住環境の改善へ取り組みます。

予防接種の無料化を継続

村民の皆様が心身ともに健やかな暮らしを送るよう、保健・医療・福祉などが連携を強め、健康づくりや介護予防の充実などに取り組みむとともに、地域包括ケアの普及、推進にも努めてまいります。また、子どもを安心して産み育てることができ、高齢者や障害者などの社会参加も図られ、支え合いと助け合いの活動なども、より浸透するよう取り組みます。保健・医療活動は、特定健診の受診

率向上のための検診一部負担の免除や、インフルエンザ、肺炎球菌などの予防接種の無料化を引き続き行います。また、歯科診療所での歯科ユニットの更新（420万円）を行い診療サービスの上向きに資してまいります。なお、患者輸送バスの運行は、高齢者などの利便性の向上に特段の配慮をもった運行に取り組み続けます。

諸施設の運営をさらに充実

高齢者保健福祉は、くろさき小規模多機能ホームでの相談・休憩室の増築（1100万円）を行うとともに、今後も、普代福祉会などと強く連携し、村民ニーズに対応した諸施設の運営の充実が図られるよう取り組んでまいります。併せて、高齢者や障害者世帯の緊急避難対策の強化のための台帳等整備（212万2千円）や赤十字活動車の整備（262万6千円）も行います。また、一人暮らしなど高齢者の暮らしの支えともなっている普代村シルバー人材センターの活動支援（251万7千円）を行い、元気な高齢者の生きがい活動の一層の充実にも努めてまいります。

村内ツアーで結婚対策を

子育て支援などは、はまゆり子ども園の保育料の無料化、新たな給食費などの免除制度を創設、特定不妊治療費の村単助成などと併せ、昨年度より拡大した高校生までの医療費の無料化も継続し、引き続き子育て世代の負担軽減に努めてまいります。また、公園遊具の更新（緑区公園、200万円）を実施し、親子が屋外でふれあう安全な遊び場の提供にも努めてまいります。結婚対策は、これまでの相談員の配置などの取り組みと合わせ、新たに移住・交流地域活性化事業（160万2千円）による出会いの場づくり（村内へのツアー）に取り組んでまいります。

堀内地区村営住宅の増設

再生可能エネルギーの活用は、指定避難所の国民宿舎くろさき荘（4700万円）、白井漁業研修施設など（287万9千円）への導入を進めるとともに、各家庭での太陽光発電電利用を村単助成（8戸、120万円）により支援してまいります。住宅等生活環境整備は、堀内地区での村営住宅建設（2戸、316万4千円）を実施し、ふるさと定住助成制度をもって供用してまいります。また、個人住宅リフォーム促進助成（20戸、200万円）も行い、一層の居住環境の改善への取り組みを行います。

村営バスをワンコイン化

道路整備は、災害に強い村道網整備を推進するよう普代駅前1号線改良（沢山橋、3000万円）に着手するとともに、堀内中央線改良（1800万円）、萩牛線改良（3000万円）を継続してまいります。また、村政懇談会での要望に応えるよう、緊急を要する道路、水路などの修繕工事（2050万円）や村道敷の未登記解消（50万円）にも順次の取り組みを行います。

一般ゴミの減量化が急務

素晴らしい自然環境を守っていくため、再生可能エネルギーの導入や資源循環対策などに取り組みます。また、定住促進のための村営住宅の整備や水道施設の改修、汚水処理の普及、生活道路の整備などに取り組みます。廃棄物対策は、一般ゴミの減量化を一層進めることが急務であり、家庭での生ゴミ処理の推進や容器包装

高齢者活動施設浄化槽化

汚水処理の普及は、浄化槽設置補助の村単高上げ（通常ルールの6割アップ、770万6千円）により、その普及に取り組みるとともに、公共施設の浄化槽化改修（高齢者活動施設、10



子どもから大人まで一人一人が輝ける、心豊かな村づくりに努めます



再生期の最終年度は水産業の基盤復興を完了させます(ワカメ漁、3月29日)



職員の接遇改善に努め、村民の皆様へ親しまれる明るい役場を目指します



防災計画等に基づき、防災力の強化に努めます(総合防災訓練)

広域消防普代分署を建設

消防防災などの充実は、東日本大震災の経験を踏まえた地域防災計画に

基づく防災力の強化などへの具体的な取り組みを推進します。施設等整備では、普代分署建設(2億円)と消防団活動安全備品整備(724万1千円)を実施するとともに、自主防災組織の活動強化のための資機材

購入助成(190万円)も行います。また、関係団体と協調した交通安全啓発物品の配布を行い、事故防止活動の徹底を図るなど、村民と協働での安全・安心な村づくりの推進に努めてまいります。

施策 4

行財政改革などを推進する施策

村民と行政の協働の村づくりを進め、村民参画の拡大を進めます。職員の資質向上に積極的に取り組むほか、久慈広域連合の事務事業の円滑な推進に努めます。

職員の接遇改善を徹底

時代の変化に対応しつつ、魅力あふれる普代村を創造していくためには、村民と行政との協働の村づくりが益々重要であります。各自自治会などと連携、協調し、観光など広範囲分野への住民参画の拡大が図られるよう取り組みます。

行政改革は、地域主権改革への対応や村民の満足度の向上のため、生活・生産の現場を優先した事務事業の見直しや、職員の資質向上などに積極的に取り組んでまいります。特に、役場へのお客様が安心して、気持ちよく



新採用の坂下雄洋さん(左)と澤口卓弥さん

用件を済ませて帰れるよう、職員の接遇改善の徹底により、村民に信頼される役場づくりに引き続き努めます。財政運営は、今後の復旧・復興事業への財政需要額や国の財源措置など

に、なお、不透明な面もあることを踏まえ、7月の普通交付税決定後に、より確実な財源把握をもって、諸事業の再調整を行い、健全性の確保に努めた運営に徹してまいります。なお、財政調整基金は、この3年間で3億4900万円の増額(平成23年5月末の6億2874万6千円が平成26年現計で9億7824万円)となり健全性を確保しておりますが、平成26年度は久慈消防署普代分署と給食センターの建設事業を予定することや、次年度以降の小・中一貫校の整備などを踏まえた中では、今後も、補助・助成制度や優遇起債の極力の活用を徹底し、不測の災害にも万全に備えられる水準の維持に努めてまいります。

広域環境組合から脱退

広域行政は、久慈広域連合での第6期介護保険計画の策定、新し尿処理場候補地の調査、ごみ焼却施設長寿命化

の具体検討、消防防災活動「拠点機能形成車両」の整備などに取り組むとともに、沿岸知的障害児組合での良質なサービスの安定提供や利用者の快適な生活環境の整備などに、構成市町村とともに取り組んでまいりたいと思

います。なお、岩手北部広域環境組合は、平成25年度末での解散が不可能となる見込みから、関係法令に基づく当面からの脱退を他の構成団体に書面予告し、2年後に脱退できるように、所要の議会手続きをお願いさせていただきます。ただ次第であります。

震災復興を加速し 人口減少や高齢化対策をより前進

平成26年度は、東日本大震災災害復興計画による「再生期」の最終年度となります。水産業の基盤復興の完了を目指すとともに、いまだ爪痕の残る観光施設などの復興を加速し、次年度からの「発展期」の諸事業の着実な推進につなげてまいります。

併せて、総合発展計画による「笑顔が満ちあふれる村づくり」の達成に向け、各分野の充実も図られる取り組みを強めながら、村の優れた自然景観、貴重な歴史・文化・伝統、安全安心な農林水産物などの資源の活用拡大と情報発信にも積極果敢な挑戦をしてまいります。

加えて、村の将来にはつきりと分る課題である「人口減少を抑える村づくり」、「健康な高齢者を増やし、(二人暮らし世帯なども)安心して



笑顔が満ちあふれる村を目指します

暮らせる村づくり」への対応についても、村民の皆さんや議会の建設的なご意見、ご提言を賜りながら関連事業などの推進に鋭意努めてまいりますと思

います。本村では、震災からの主幹産業の復旧・復興にはつきりとした目途が見えたことを受け、いよいよ、震災前からの諸課題の克服・解決にも挑戦し、震災前にも増して活力ある村として発展するための施策をより前進していく段階にもあると存じます。小さくとも子どもたちから高齢者まで一人一人が輝き、真に心豊かに暮らせるよう、私もその取り組みの先頭に立って、最大の努力を傾注する決意をいたしております。村民の皆様を始め、議員各位並びに関係諸団体などの皆様には、一層に、先人の方々の不屈の精神を受け継いだ底力を発揮いただき、次の世代に、より健全で誇れる村を引き渡すことができますよう、共に頑張ってくださいますよう、更なるご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げます。の所信の表明といたします。

平成26年度の村づくりの基本となる当初予算が、3月定例会で決まりました。一般会計当初予算は27億3,740万円(前年度比5・3%減)で復旧・復興関連事業がある程度進んだことによる減額となりました。本年度は普代分署や給食センターの建設、堀内地区村営住宅を増設するなど、安心・安全な村づくりを進めます。

村債の前年度比は増
一般会計予算は、村の基本的な仕事に充てるお金のことで、歳入と歳出に区分されます。
主な歳入は、村税が1億8,545万円(前年度比3・1%増)で、国から交付される地方交付税が13億8,470万円(同8・1%減)と減少。村債は6億2,820万円(同121・9%増)で消防債と教育債が増となり、国庫支出金は復興交付金の減などもあり1億6,956万円(同30・5%減)となり、県支出金も再生可能エネルギー導入事業の減少により、1億5,469万円(同49・4%減)となりました。

災害復旧費は大幅の減
主な歳出は、総務費が4億3,140万円(前年度比27・3%減)、農林水産業費は2億1,548万円(同35・2%減)、震災の復旧・復興事業を盛り込んだ災害復旧費は大幅に減少し2億9,880万円(同90・8%減)となりました。

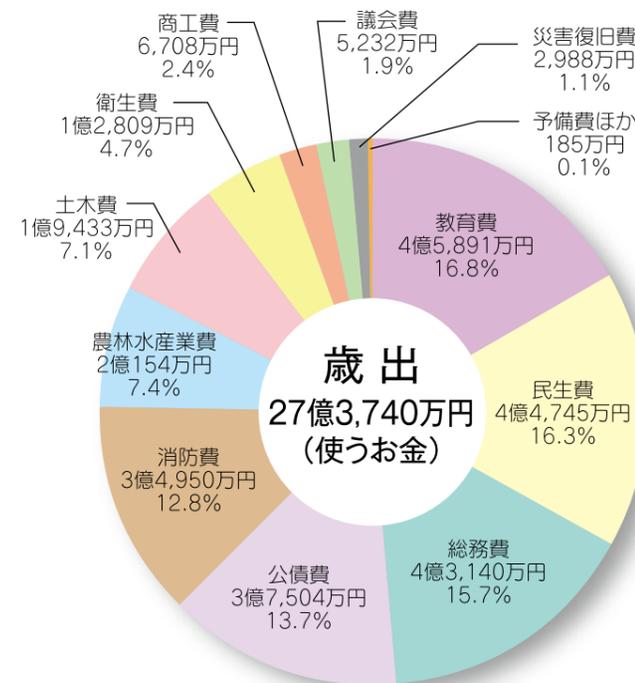
特別会計の予算総額は10億8,980万円(同1・7%減)となっています。

27億3,740万円で消防分署、給食センターを整備

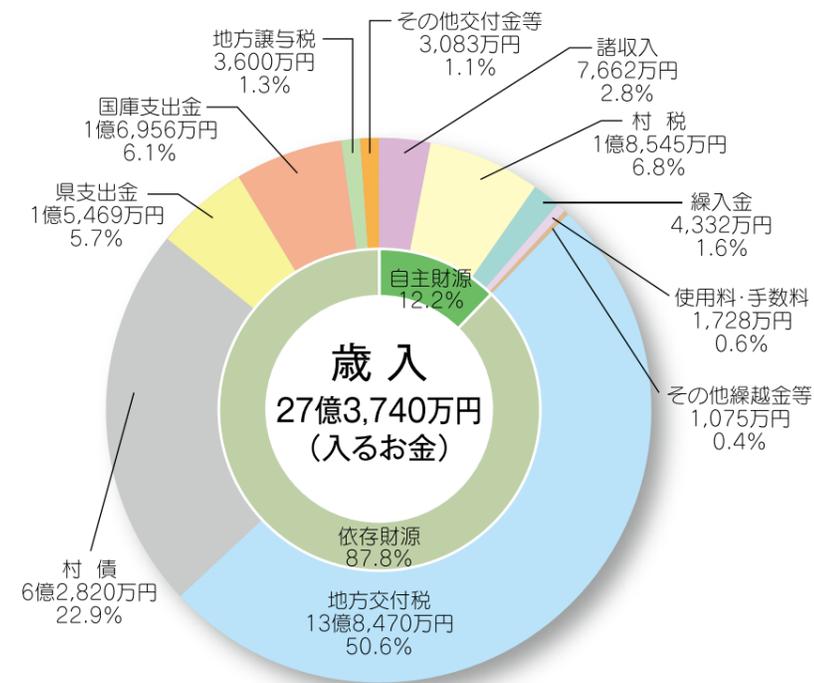
沢山橋改修、子ども園園庭の拡張、堀内簡水ポンプ室の更新、観光情報発信などを盛り込む

平成26年度の主な事業	
事業内容	予算額
学校給食センターの建設	2億8,068万円
堀内地区村営住宅の建設	3,164万円
黒崎漁港機能強化	1億円
各公共施設への再生可能エネルギーの導入	5,203万円
広域消防普代分署建設	2億円

用語の説明(歳出)	
教育費	小・中学校の管理運営や施設整備、生涯学習、文化財保護などに使うお金
民生費	高齢者や障がいを持った人、児童の福祉推進に使うお金
総務費	村長や議会議員、職員などの人件費や財産管理、地域振興などに使うお金
公債費	公共事業などの財源に借りたお金の返済に使うお金
消防費	普代分署や消防団の運営など、消防活動や救急活動に使うお金
農林水産業費	農林水産業などの振興に使うお金
土木費	道路や公園、公営住宅の整備などに使うお金
衛生費	ごみ、し尿の処理や健康増進事業に使うお金
商工費	商業や観光の振興などに使うお金
災害復旧費	東日本大震災など災害の復旧に使うお金



歳出の構成比



歳入の構成比

特別会計予算額()内は前年度比	
総額 10億8,980万円	
国保事業	5億1,250万円 (△0.6%)
国保診療施設事業	2億1,340万円 (0.2%)
簡易水道事業	1億1,750万円 (36.9%)
休養施設事業	1億9,900万円 (△19.7%)
漁業集落排水事業	2,130万円 (△2.7%)
後期高齢者医療事業	2,610万円 (5.6%)

用語の説明(歳入)	
地方交付税	国から交付されるお金
村債	国から借りたお金
県支出金	事業を行うための県からの補助金
国庫支出金	事業を行うための国からの補助金
地方譲与税	国税として徴収され、そのまま国から市町村などへ与えられたお金
諸収入	村の預金利息や貸付金の元利収入
村税	村民税や固定資産税など皆さんから集めたお金
繰入金	財源を確保するため村の預金から取り崩したお金
使用料・手数料	住民票などの証明書の発行のために納められたお金
その他繰越金等	前年度から繰り越されたお金

追手門大学地域文化創造機構が支援 茨木神社で鵜鳥神楽奉納

県指定無形民俗文化財・鵜鳥神楽は3月21日、大阪府茨木市の茨木神社で神楽を奉納しました。
同公演は以前盛岡大学の教授で岩手県文化財保護審議委員だった追手門大学地域文化創造機構の橋本裕之特別教授(52)



会場が最高潮になった 鵜鳥神楽の演目の一つ「羅生門」

らが被災地支援の一環として企画。関西圏から約100人が参集しました。神楽宿の雰囲気を感じさせる同神社の儀式殿で、神楽衆は「清祇い」「非の川」「羅生門」「恵比須舞」の4演目を披露し、会場を沸かせました。

中でも「羅生門」は、平安時代に大江山を本拠に京都の都を荒らし回った鬼の一人で、酒呑童子の家来となった茨木童子が、源頼光四天王の一人・渡辺綱と羅生門で戦うという演目。茨木市ゆかりの茨木童子が登場し、こっけいなやりとりや大立ち回りを演じると会場は盛り上がり、拍手と笑いの渦に包まれました。

今後も普代と交流を

第二部の座談会「震災から3年、神楽と漁業で地域づくり」では、橋本特別教授を司会に、地域文化創造機構の河合博司機構長、鵜鳥神社の熊谷一文宮司、同保存会の工藤淳泰さん、村広報担当の森田安彦主任主査の4人をパネリストに、それぞれの目線から神楽や地域づくり、普代村と茨木市との交流などについて

話し合いました。工藤さんは、最近の巡行について「以前は民家で行っていましたが、生活スタイルの変化などで今は土日が中心。民家より公民館が多くなりました」と巡行の実情を話しました。

一方、熊谷宮司は「震災で神楽衆が犠牲になったり、神楽宿も被災したことからお祝いの神楽はやらない方がよいと考えていました。しかし、被災した漁業者などから『神楽に来てほしい』という声を多く聞き、今年は巡行に踏み切りました」と心境を語りました。

河合機構長は、「地域ぐるみで教育を支え、伝統文化を守る普代村と今後も交流を深めていきたいです」と話していました。

鵜鳥神楽は、震災後2年間自粛していた巡行を今年3年ぶりに決行。1月8日の鳥居公民館をスタートに釜石市まで約2カ月間、民家や公民館など8カ所を巡り勇壮な舞を見せ、悪魔払いや無病息災、大漁祈願などを祈禱し、沿岸の人々を勇気づけました。

特産品ブランドづくり事業成果発表会 新たにコンブ商品2品が完成!



開発者がそれぞれ誕生のきっかけなどを話しました

地域資源のコンブを利活用し、村を活性化させようと計画された「ふだいの昆布で村おこし」プロジェクト。その中の特産品ブランドづくり事業成果発表会が3月23日、役場で開かれ、漁業関係者や村内業者など約30人が参加しました。

特産品を大いに活用し、水産業、商業の活性化とさらなる賑わいづくりに努め、情報発信、交流の拡大につなげていきます」とあいさつ。その後、新商品「PaPa」と「こんぶ」と「黒崎厨房贅」の発表が行われ、開発者の村漁業協同組合の野田口由彦さんとくろさき荘の従業員金子慎也さんが、それぞれ新商品誕生のきっかけや販売価格などを発表しました。

午後からは新商品を含めた、普代のコンブを使った商品の試食会が行われ、来場者はコンブの風味などを生かした商品の味を確かめていました。



黒崎厨房贅 ¥1,000

肉厚で、シャキシャキとした歯ごたえが特徴の普代産すき昆布。その特徴を活かし、贅沢な具材(アワビ、ウニ)と共に炊き上げた大人の佃煮です。お酒にもよく合いますので、晩酌のお供にぜひどうぞ!



PaPaとこんぶ ¥750

3~4等角の食べやすい大きさにカットした乾燥昆布は、水で約5分、お湯なら約1分で戻るので、毎日のお料理にも簡単手回らず。手軽に使えるのでキッチンの常備品になること間違いなし!

村交通安全メッセージコンクール 交通安全へのそれぞれの思いを綴る

村交通安全メッセージコンクールの審査会が3月7日に行われ、低学年メッセージの部で澤口亜海さん(普代小2年)、高学年メッセージの部で3年生の道下歌乃さん(同3年)、同標語の部で藤島杏夏さん(同5年)がそれぞれ最優秀賞に輝きました。

同コンクールは、普代小学校1年生から5年生までの児童を対象に行われ、82作の応募がありました。今回は低学年メッセージの部最優秀賞の澤口亜海さんのメッセージを紹介します。今後も広報紙でそれぞれの作品を紹介する予定です。最優秀賞の作品を除いた受賞者は次の通りです。

- ◇交通安全メッセージコンクール(普代小学校)▽低学年メッセージの部▽優秀賞 葛形航陽(1年) 熊谷心愛(同)▽佳作 金子恵美(2年) 赤坂菊乃(同)
- ▽高学年メッセージの部▽優秀賞 征谷志穂(3年)▽佳作 太田我空(同)▽高学年標語の部▽優秀賞 中村麻美(4年)▽佳作 赤坂愛夏(5年) (敬称略)

交通安全メッセージコンクール入賞作品紹介①

小学校低学年メッセージの部
最優秀賞 2年 澤口 亜海



お母さんへ。いつも朝からおしごとに行ったり、おくりむかえをしてくれてありがとうございます。これからも、しんごうをむししないでうんてんしてね。あと、シートベルトはぜったいしてね。そしてまた、いろんなところにつれて行ってね。だけどじことかおまわりさんにぜったいにぜったいにつかまらないでね。いつまでも元気でやさしいお母さんでいてね。お母さんが、おばあちゃんになったら、せわもちゃんとやってあげるからね。うまれかわってもいまのかぞくだとぜったいあわせになるとおもうよ。これからもやさしいお母さんでいてちょうだいね。

地域ブランド講演も

成果発表会の中では、岩手県産業創造アドバイザーで株式会社エムシアルの大滝克美代表による「地域ブランドを考えるヒント」と題した講演も行われました。大滝代表は「ブランドは顧

客との信頼関係が大切で、さらにこの信頼がリピーターを生みます。時間をかけて信頼を築き上げ、村が提供できる価値などを見出して、ふだいブランドを作りましょう」と話していました。同成果発表会は、昨年2月にも行われていて、2年連続での開催となりました。

広報縮刷版Ⅲ・Ⅳを発刊 村の貴重な歴史などが満載!



縮刷版には村の貴重な歴史などが満載

村はこのほど、東日本大震災をはじめとする過去の災害から得た教訓を後世に伝承することを目的に「広報ふだい縮刷版Ⅲ」(平成5年4月)「平成15年3月1132頁」と「広報ふだい縮刷版Ⅳ」(平成15年4月)「平成24年3月106

2頁)の2冊を同時に発刊しました。同縮刷版は長い歴史のある「広報ふだい」を横型のB4判でそれぞれにまとめたもので、懐かしい村の話や村の貴重な歴史などが満載です。同縮刷版は2つ1セット、2000円で販売し、過去の縮刷版も1000円で販売していますので、購入を希望される人は、役場総務課政策推進室(☎35-2111)にお申し込みください。4月14日から同室で代金と引き換えに販売しています。冊数に限りがございますので、お早めにお求めください。

おとうさん
おかあさん
あのね... 323



ののかちゃん
(はまゆり子ども園さくら組)

かねこののかちゃん(金子乃々佳・5歳)から母・鳩子さん、祖母・絹代さんへ

ののね、おかあさんと、おばあちゃんと3にんでいっしょにねるときが1ばんすきなんだよ。あとね、ののいっしょのこどもえんでおかあさんがおしごとするからすごくうれしいな。おともだちが、おかあさんがつくったきゅうしょくを「おいしい!」ってしてくれるよ。おしごとがんばってね! ののにもにんじんとかきるのをおしえてね。パソコンもちよっとだけかしてくれとうれしいな。

ばあちゃんはおきやくさんがくるじゅんぴをしていそがしくてたいへんそう。おしごとがんばってね。いつかみんなでイオンとかドンキホーテとかいっしょにいきたいな。



☆今月から普代で頑張る企業を紹介します

明内理容美容店

「ヘナカラーおすすめです!」



「もっとすきますか?」と笑顔の齋藤さん



齋藤さんの代にリフォームした明内理容美容店

美家の床屋を受け継ぎ9年目を迎えた「明内理容美容店」さん。
店主の齋藤恵子さんは、仙台的理容室で支店長を務めていましたが、親が普代にいたこともあり「いつかは帰らなきゃ」という気持ちがかどかにあつたそうです。「帰郷の後押しするように、昇進の話が本社からあつて「じゃあ帰

ります!」と普代に帰ってきちゃいました(笑)ときっかけを話します。
理容店を利用するお客さんは老若男女ですが、女性が約7割をしめるそうです。
「うちの店の一番の売りはヘナカラーです。私の皮膚が弱いこともあり、自分の手でも染められる薬を探し、ヘナにたどりつきました。ヘナカラーは染めるというより、髪に塗ると考えていただいた方がいいですね。極端な話毎日やっても傷まないですよ」と齋藤さん。
また「子どもの利用客にはアメのつかみ取りもやっています。ぜひご利用ください」と笑顔で話していました。

■明内理容美容店
 ☆定休日: 月・火曜日(火曜日は第1、3週)
 ☆営業時間: 9:00~
 ☆場所: 〒028-8334 岩手県下閉伊郡普代村 12-71-13

MY FRIEND Vol.70

友達の友達は...みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は上区の岡本信さん(33)、美華さん(33)夫婦です。



左から美華さん、信さん、手前左から長女の和奏ちゃん(5)、次女の心葉ちゃん(3)。

『地域の温かさを感じます』

普代中学校2年生の副担任・岡本信さんと、妻で普代小学校4年生担任の美華さんは、大学時代の同級生で、2年生の時から交際がスタート。大学を卒業後は信さんが一関に、美華さんは西根に教員として勤務していました。「平成18年の人事異動で妻が堀内小学校に転勤となり「普代ってどこや?これ以上離れたらまずい」と思い結婚しました。今思えばいいきっかけですね」と笑顔の信さん。

その後、信さんは小本中に住みはじめ、2人の子どもに恵まれるなどして現在に至ります。
村のいいところを聞くと「食べ物がおいしいところですが、普代のワカメの美味しさに、少し敗北感を覚えました(笑)」と話していました。続けて美華さんは「小さい村だからこそ、みんな面識があつて安心感があります。子どもたちも地域の温かさにはえられ、すくすく育ち、今年和奏ははまゆり子ども園の年長組に、心葉は年少組になり

ました。村内で私たち家族を見かけたら、気軽に声を掛けてくださいな」と笑顔を見せていました。
.....Q&A.....
一休みの日は。
妻の実家(北上)に帰省しています。
一時間とお金があつたらしてみたいことは。
子どもたちが東京都にある「三鷹の森」に行きたいと言っているのを連れて行ってやりたいです。
一村へ一言。
村内いろいろなお店に行きたいと思つているので、その際はよろしくお願いします。



◆一般向け
『無名の虎』
二志 耕一郎

朝日時代小説大賞受賞作!もはや戦には出られない。利き腕をなくし、失意の底に沈む侍は、治水工事に新たな人生のすべてを懸ける。

朝日新聞出版社

◆小学生向け
『不思議を売る男』
ジェラルディン・マコックラン

エイルサが図書館で出会った男が、翌日から母親の古道具店で働くことになった。その男の商売のうまさにエイルサ親子は引き込まれていく...



偕成社



◆幼児向け
『はなになりたいたい』
すまいるママ

ころやさしいライオンがある日、ウサギのあかちゃんを拾って育てることに...。親と子のきずなをあたたく描いたものごとたり。

ヴィレッジブックス

本はともだち

図書館へ行こう!

★開室時間: 午前9時~午後5時
★休室日: 毎週月曜日
★電話・ファックス: 36-1-1044

みんなのイラスト展

広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は10€から、②は15€からの出題です。

①本年度の村の一般会計予算額はいくらかでしょう？

- A 17億3,740万円
- B 27億3,740万円
- C 37億3,740万円

②特産品ブランドづくり事業成果発表会で発表された新商品「PaPa っとこんぶ」はいくらでしょう？

- A 700円
- B 750円
- C 800円

【応募方法】

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。

はがきに広報ふだいの感想、ご意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。お待ちしております。

☎あて先…〒028-8392

普代村9-13-2

普代村役場 広報クイズ係

☎締め切り…5月5日(月) 当日消印有効

☎3月号の答え…い(ぬいぐるみが増える)、う(一眼レフカメラがハンディカメラに)、く(靴下が変わる)

☎応募総数…9通で9人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。

☎当選者…①齋藤琴仁ちゃん(宮古市・4歳) ②道下香凜さん(緑区・11歳) ③太田ひなさん(太田名部・8歳) ④齋藤千穂ちゃん(芦渡・4歳) ⑤太田りあちゃん(太田名部・4歳)



道下香凜さん (緑区・11歳)



齋藤嘉亜翔くん (宮古市・12歳)



齋藤琴仁ちゃん (宮古市・4歳)



齋藤千穂ちゃん (芦渡・4歳)



太田ひなさん (太田名部・8歳)



古沼麻莉亜さん (神奈川県川崎市・8歳)



富山瞳莉さん (野田村・9歳)



滝澤光来ちゃん (久慈市・5歳)



太田りあちゃん (太田名部・4歳)



魚定さんのこんぶ饅頭は具たくさん!

魚定さんで「こんぶ饅頭」がメニューに 普代の郷土食へ1歩前進!

このほど、太田名部の仮設店舗に店を構える魚定さんで「こんぶ饅頭」が新メニューに加わりました。こんぶ饅頭は主にお土産用

に売られていて、村民の人でも食べたことがないという人が多かった商品。店主の太田定治さんは「観光客もですが、村内の人への売れ行きも楽しみです」と話していました。またこんぶ饅頭の開発・販売を担当の村商工観光対策室の高井俊一係長は「村内各所で取り扱ってもらって普代の郷土食になってもいいですね。販売していただけるお店があれば、村商工観光対策室(☎35-2115)までご連絡ください」と話していました。



25人の園児が元気いっぱいに子ども園を卒園



卒業生からは記念品として紅白幕が送られました



中学校では、在校生から卒業生に歌が送られました



立派な姿勢で卒園証書を受け取る園児



小学校では18人の児童が中学校に進みます



25名の生徒が中学校を卒業。4月から新しい生活が始まっています

村はまゆり子ども園の卒園式と、小中学校の卒入式が3月12日から4月8日までの間にそれぞれ行われました。保護者や先生、来賓の皆さんに見守られる中、園児や児童、生徒が式に臨み、思い出多きまなびや友との別れを惜しみながらも、新しい出会いに胸を膨らませました。中でも3月12日に行われた中学校の卒業式は小学生の時、東日本大震災の影響で、学校で式を行えず、役場庁舎で卒業を迎えた生徒たちで、さまざまな思いを巡らせ25人が式に臨みました。式辞で普代中学校佐藤嘉宏校長は「進む道はそれぞれ違いますが、ふるさと普代の発展に貢献する人に成長することを、期待しています。これからの皆さんの進路に幸多からんことを願っています」と生徒の門出を激励しました。今年卒業した生徒は全員受験に成功。友との別れに涙しながらも、新しい生活に期待し、中学校を旅立ちました。



子ども園には新しく18人の友達加わりました



2年生が新1年生25人に合唱や歌を送りました



在校生は迫力あるエールで新入生を歓迎



在園児は新しい友達を「楽しいね」の歌で歓迎



緊張したけど、元気いっぱいに返事が出来ました



「文武両道で頑張ります」と誓いの言葉を話し、18名の生徒が入学

出会いと別れ...

それぞれの「春」

義援金、支援金、ふるさと応援基金
(3月1日～3月31日分、敬称略)
▶ 基石憲治、森田安彦 11,423円

これまでの合計額 **74,967,665円**

※義援金は被災者への義援金として、支援金などは被災者漁業再建助成金や復興支援事業などに活用しています。

戸籍の窓

3月分(敬称略・順不同)

お誕生おめでとう (0人)

ご結婚おめでとう (3組)

新屋 吉将)	黒崎
杉原 唯)	久慈市
道上 健太)	旭日区
川原 宏美)	久慈市
太田 俊英)	太田名部
槻館 歩実)	二戸市

お悔やみ申し上げます (3人)

上向トミヨ	堀内	99歳
須田 友三	旭日区	87歳
金子 啓三	黒崎	57歳

交通安全 対策情報

■村内の交通事故《3月》

人身事故 1件(1件)

物損事故 2件(11件)

※()内は1月からの累計

飲酒運転検挙者 0人(0人)

※()内は1月からの累計

■救急車の出動回数《3月》14回

■飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)

県内33市町村中ワースト順位…**14位**

(2月28日現在)

県内の検挙者数《2月》 35人

くらしの情報

ご存じ
ですか？

看護の日、記念行事を開催

看護の心の普及啓発を通して、県民一人一人が看護や介護に関心を高めることを目的に、公益社団法人岩手県看護協会では5月11日(日)～17日までを「看護週間」と定め、県内病院や施設でふれあい看護体験などを行います。

また、5月10日の看護の日を記念して、「健康フェア in 2014」が次の日程で行われます。

▶日時…平成26年5月10日(土) 11:00～15:00

▶場所…アイーナいわて県民情報交流センター(アイーナホール7階・県民プラザ4階)

▶内容…各種測定や相談、福祉用具の展示など

来場者には「看護の日」記念グッズをさしあげます。参加無料ですので、お気軽にお越しください。

ツキノワグマに注意!

クマの人里などへの出没は、ブナの豊凶と関係深いことが明らかになっていて、凶作の年には出没が多い傾向にあります。

昨年が大豊作のため、今年は凶作または皆無になると見込まれていて、クマの出没する可能性が高いです。散歩や入山などで家の外に出る際は、鈴をつけるなど十分注意し、クマの誘引物となる残飯などの処理の徹底をお願いします。

「消費者トラブル」相談を

久慈広域消費者センターでは、広域町村での出張相談会を次の通り行います。悪質商法など消費者トラブルでお困りの人は、ご相談ください。また、同時に弁護士による無料出張相談会も行います。相談は無料ですので、お気軽にお越しください。

▶日時…4月28日(月) 13:30～15:30

▶場所…役場小会議室

▶問い合わせ先…久慈広域消費生活センター(☎0194-54-8004) または役場住民福祉課(☎35-2113)

医療保険料が変わります!

後期高齢者医療保険料率は2年ごとに見直しを行っており、4月から均等割額38,000円、所得割率7.36%が適用されています。

保険料は所得に応じて軽減されます。平成26年度の保険料は平成25年度中の所得を基に今年の7月までに決定し、納入通知書を郵送しますので、ご確認の上お納めください。

その他、お問い合わせなどは岩手県後期高齢者医療広域連合(☎019-606-7500) または村住民福祉課(☎35-2113 内線135)まで。同医療保険料の納期限は下表のとおりです。

期別	納期限
第1期	平成26年7月31日(木)
第2期	平成26年9月1日(月)
第3期	平成26年10月31日(金)
第4期	平成26年12月25日(木)
第5期	平成27年2月2日(月)
第6期	平成27年3月2日(月)
第7期(随期)	平成27年3月31日(火)

危険物試験を行います!

平成26年度の危険物取扱者試験を次の通り行います。

▶日時…①6月28日(土)盛岡市、花巻市、一関市、釜石市、宮古市②7月5日(土)盛岡市、奥州市、大船渡市、久慈市、二戸市

▶受付期間…電子申請は5月5日(月)～12日(月)午後5時締め切り、書面申請は5月8日(木)～15日(木)当日消印有効

緑の村へGO!GO!

緑の村子どもまつりが次の日程で行われます。飲食店の出店ややきにく広場や光るどろだんごづくりをはじめとした催し物が盛りだくさん! ゴールデンウィークは親子で緑の村へGO!GO!

▶日時…5月5日 10:00～15:30

▶ところ…緑の村広場



昨年の様子

6/2は自動車税の納期限

自動車税は4月1日現在の自動車の所有者が納める税金です。納税通知書は4月末に皆さんのお宅に届く予定です。納期限までに忘れずに納めましょう。▶問い合わせ先…県北広域振興局県税室(☎0194-53-4986)

普代村ふるさと応援基金への寄付状況(3月31日現在)

25年度分 **341,100円** 累計 **9,361,382円**

106件(村内34件、県内4件、県外68件)

普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎0194-35-2111、内線112)までご連絡ください。

里親になりませんか?

県内には、さまざまな事情により親元で暮らすことのできない子どもたちがいます。子どもの健やかな成長のためには、大人の温かい愛情と、安定した家庭環境の中で育てられる必要があります。

県では、こうした子育てに愛情や熱意を持って参加していただく養育里親を募集しています。

里親制度の詳しい内容などは、岩手県福祉総合相談センター児童女性部(☎019-629-9608)まで

岩手県警察官を募集!!

岩手県警では、平成26年度の岩手県警察官A(男性・女性)の採用試験を次の通り行います。

▶採用予定日…①平成27年4月1日

▶受験資格…昭和56年4月2日以降生まれで①大学(短期大学を除く)を卒業した人、または平成27年3月31日までに卒業見込みの人②人事委員会が①と同等の資格を有すると認める人

▶申込期間…5月7日(水)～5月30日(金)(郵送・持参・インターネット)

▶1次試験…7月13日(日)盛岡地区

▶問い合わせ先…普代駐在所(☎35-2110)

困っていたら相談を!

久慈地区法律相談

▶期日…5月8、29日(木)▶時間…10:30～15:30▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-52-2111)

多重債務者相談

▶期日…4月25日(金)▶時間…9:00～15:00▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター▶問い合わせ先…同センター(☎0194-54-8004)

くらしとお金の安心相談会

▶日時…5月21日(水) 10:00～16:00▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター▶問い合わせ先…同センター(☎0194-54-8004)

久慈保健所での相談

エイズ・肝炎ウイルス・性器クラミジア検査、骨髄バンク登録

▶日時…5月13日(火) ①エイズ・肝炎・性器検査:15:00～18:00 ②骨髄バンク登録(要予約):15:00～18:00

精神保健福祉相談

▶日時…5月23日(金) 13:30～(要予約)

ひきこもり相談

▶日時…5月19日(月) 14:00～15:30
3件とも、問い合わせ先は久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)

広告募集中!!

村では「広報ふだい」に掲載する広告を皆さんから募集しています。村内の方で掲載を希望される方は、総務課広聴広報係(☎35-2111内線118)までお申し込みください。

なお、掲載内容については、審査をさせていただきます。

金額	1,500円/月:白黒1マス(縦4.5cm×横9cm程度、多少増減することもあります)
発行部数	1,550部(村内は全戸配布・村外約200部)
原稿締切	発行月の前月末日
その他	広告は村ホームページにも掲載されます。

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替



沢口畳店

普代村13-12-8 TEL・FAX 35-2561

～宿泊・宴会・仕出し 承ります～

北三陸 ふだい

国民宿舎くろさき荘

〒028-8351
岩手県下閉伊郡普代村第2地割字下村84番地4
TEL 35-2611
FAX 35-2872

5月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
27 (赤口) 村消防団特別点検 (7:30~、普代中)		29 (仏滅) 昭和の日	30 (大安) 固定資産税第1期納期限、軽自動車税納期限	1 (赤口)	2 (先勝)	3 (友引) 憲法記念日
4 (先負) みどりの日	5 (仏滅) こどもの日 こどもまつり (10:00~15:30、緑の村広場)	6 (大安) 振替休日 鵜島神社例大祭	7 (赤口) ・ブックスタート ・1歳6ヶ月児・3歳児健診 (受付12:00~12:30、◎)	8 (先勝) 	10 (先負) 体育施設無料開放日	
	12 (大安) ・健康相談 (茂市・芦渡)	13 (赤口) ・健康相談 (鳥居・堀内机)	成果発表会 		16 (先負)	17 (仏滅) 普代中学校体育祭
18 (大安)	19 (赤口)	20 (先勝)	21 (友引) ・2歳児健康教室 (受付12:00~12:15、◎)	22 (先負) ・ブックスタート ・1歳6ヶ月児・3歳児健診 (受付12:00~12:30、◎)	24 (大安) 普代小学校運動会 	
25 (赤口)			28 (先負) ・2歳6ヶ月児園科教育 (受付12:00~12:15、◎)	29 (大安)	30 (赤口) 青少年劇場	◎は保健センター ①は北緯40度野球場 ②は社会体育館 ③は管理センター ④はふれあい交流センター ⑤は内科診療所 ⑥は海洋センター ⑦ははまゆり子ども園

「はい、普代村役場です」

▷市外局番0194◁



役場にご用の際は、各課への直通電話をご利用ください。

- 総務課【政策推進室】 ☎35-2111
- 税務出納課 (税務部門) ☎35-2112
- 税務出納課 (出納部門) ☎35-2117
- 住民福祉課 ☎35-2113
- 農林商工課・農業委員会 ☎35-2115
- 建設水産課【震災復興室】 ☎35-2116
- 議会事務局 ☎35-2118
- 教委事務局 ☎35-2711
- 保健センター ☎35-2211

ながさわ
お料理・お飲み物プラン、オードブル **ゴールデン**
ご相談ください。 ウィーク中も営業いたします。
ご予約お待ちしております!

●営業時間 18:00~23:00 ●定休日 日曜・祭日
普代村中央区 電話 35-2313 携帯 090-5833-1637

DVDダビング
大切な思い出をDVDに永久保存!
二人なかよく幼稚園の遠足 一生心に残る名勝負...
いっしょけんめいがんばった運動会 思い出の旅行...

ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!
当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込)
8ミリフィルムもダビングOKです!!
価格応談

(有)坂下電化センター TEL 35-2138

元気出して行こうよ!
レバコール
頑張りが効かないあなたに...
偏りがちな食生活に
わかっていても、やめられない...
良質なアミノ酸でサポート

2本入り 3,888円
4本入り 7,020円

高橋薬局 中央区 電話 35-2045 FAX 35-2827

肖像写真 技能士
カトウ写真館
フジフィルム純正処理

家族アルバムを作ろう
Year Album

普代横町 Tel (35)2594

塗装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933

あなたのお好きな色を選んで
あなたにあった度がついた
めがねセットをお作りします!!
各眼科処方箋もどうぞ

普代村中央区 **まつば時計店** ☎35-2276

エンジンチェックランプ点灯していませんか?

日整連コンピューターシステム診断認定店!!

(有)ナガサワ自動車整備工場
電話 0194 (35) 2216 FAX 0194 (35) 2158

普代ポイントカード会からのお知らせ!!

毎月2,000円の商品券が当たるラッキーチャンス。3月当選者は以下5名です。
安西ミサオ様 (上区) 内野沢めぐみ様 (上区) 正路潤之介様 (鳥居) 中居ツル様 (鳥居) 中村三枝子様 (緑区)

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

お買い物は、ぜひ普代ポイントカード会加盟店のご利用をお願いいたします。



東日本大震災の大津波で路線の一部区間が被災し、運休していた三陸鉄道北リアス線が4月6日、久慈～宮古間で全線運行再開し、約3年ぶりに開通しました。堀内駅、沢漁港、普代駅では運行再開を祝い、総勢約200人による歓迎イベントが行われました。記念列車の「北三陸満喫号」には、NHK朝のドラマ「あまちゃん」でお馴染みの大吉駅長（杉本哲太）と吉田副駅長（荒川良々）が乗車。沢漁港で、ドラマのワンシーンを再現し、約50人の地域住民が大漁旗を振って記念列車「北三陸満喫号」を歓迎すると、車両からは歓声が飛び交っていました。



大沢橋梁では地区住民が大漁旗を振り歓迎



普代駅のホームを埋め尽くす約100人の観衆



村では三鉄を応援する有志が「縁結び昆布」（写真＝上）と「コンブ乗車証」を作成し、三陸鉄道や記念列車「北三陸満喫号」の乗車客に配りました。中には、結びこんぶが入っていて「固く結ばれて離れないように」と鶴鳥神社でお清めを行い、三陸鉄道の全17車両に付けてもらうとプレゼントしました。



記念列車には大吉駅長と吉田副駅長も乗車



ライオット風は「さんてつでんしゃのうた」で歓迎

人口と世帯 3月末現在

	前月比	前年比
人口	2,941人 (-3)	(-34)
(男)	1,433人 (+1)	(-11)
(女)	1,508人 (-4)	(-23)
世帯	1,134戸 (+3)	(+1)

ホッと一息

▼4月1日付けで議会事務局に異動になりました。広報に携わった10年間、村民の皆さんには、本当にお世話になりました。10年の間には、市町村合併、行財政改革、学校統合、そして東日本大震災などさまざまな出来事がありました。「みんな頑張ってるなあ」「やっぱり笑顔はいいなあ」「今月の表紙は何にしよう」「あ、写真がまいちだなあ」...そんなことを思いながら毎月なんとか積み重ねてきました▼村民の皆さんからは「毎月楽しみにしているよあ」「頑張つてえ」といつも声を掛けていただきました。そんな言葉に励まされこれまでやってることができました▼今は1年間一緒に広報の仕事をしてきた下道君にバトンを渡します。これまで私を育ててくれたように、下道君もよろしく願います。そして、これからも皆さんと歩んでいく「広報ふだい」であってほしいと願います。10年間、本当にありがとうございました。 (森田◎) (下道◎)